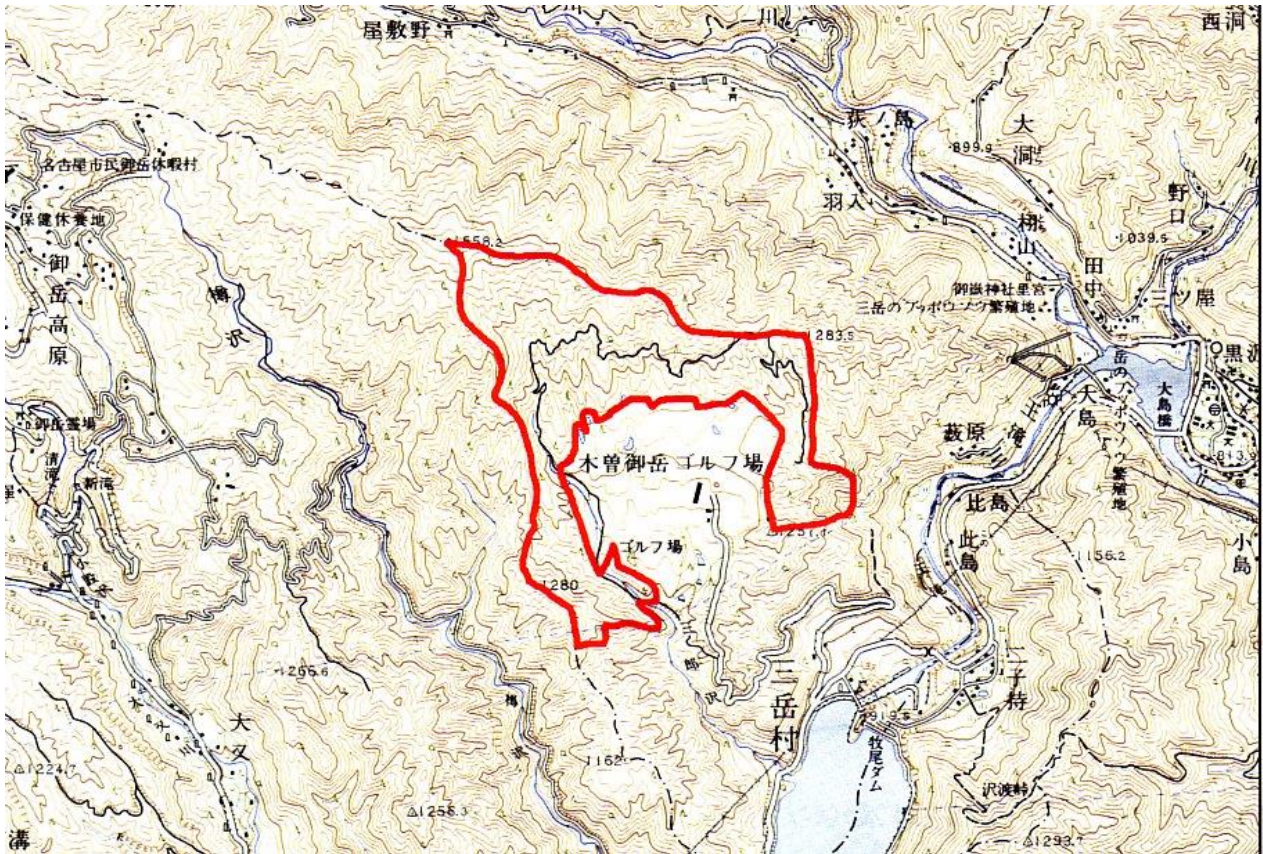


三岳県有林



この地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図(木曾福島、上松)を使用したものである。

<沿革>

三岳県有林は木曾町（旧三岳村）の西方にあり、標高930mから1,550mに位置しています。

昭和47年3月29日、村有林と私有林を購入して創設されました。

昭和50年にゴルフ場開発のため、村有林と交換した経緯があり、ゴルフ場を囲むように存在しています。

現在、長野県林業大学の演習林として活用されているほか、同校主催の公開講座の会場として利用されています。

<現況・特色>

樹種別では、40年生前後のヒノキと50年生前後のカラマツを主体とした森林で、間伐施業を積極的に実施しています。

また、ここでは長野県林業大学の学生が実習を行っています。

近年、クマの剥皮被害が増えているためヒノキの保育間伐と併せて、幹へのテープ巻によるクマ剥ぎ対策も行っています。



長野県林業大学の学生によって
植栽されてきたヒノキ林

<森林整備の方向>

路網が比較的整備されていることから、小面積分散型施業を中心とするゾーニングとし、傾斜が25度以下の林分では効率的木材生産型施業として、主伐・再造林を実施します。

また、路網から距離があり、かつ、地位の低い箇所は奥地林施業として上層木を適宜抜き伐り、天然更新を促進します。

<樹種別資源構成>

単位：ha

面積	スギ	アカマツ	ヒノキ・サワラ	カラマツ	その他針	その他広	除地・保残帯
222.20		8.46	79.69	64.11	2.68	12.65	54.61
100%		4%	36%	29%	1%	6%	25%

